

Q & A

—日本学生支援機構奨学金（大学院二次採用）—

ご使用のPDF閲覧ソフトの「テキスト検索機能」でキーワード検索すると便利です。

※ 「大阪大学ウェブサイト」とは、特にURLの記載がない場合、（<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/mdzaigaku>）を指します。

※ 豊中学生センターへの問合せ先（問合せフォーム）：https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/form_recruit

番号	項目	質 問	回 答
1	申請資格	休学中だが申請できるか。	申請可能です。 ※海外に滞在中でも、必要書類の提出や、不備対応、採用後の書類受付、及び返還誓約書の提出等必要な手続きをする必要があります。特別な対応はいたしません。
2	申請資格	留学中だが申請できるか。	申請可能です。 ※海外に滞在中でも、必要書類の提出や、不備対応、採用後の書類受付、及び返還誓約書の提出等必要な手続きをする必要があります。特別な対応はいたしません。
3	申請資格	留年中だが、申請可能か。	休学や留学していた期間がなく、在籍課程の最短修業年限を超えている場合は申請できません。同一学年を重複している場合、申請できません。また、今年度進級できなかった場合（留年中）も申請できません。
5	申請資格	昨年度までの奨学金が今年の3月で『廃止』となったが、申請できるか。	申請要件を満たしていれば、昨年度に『廃止』となっても申請は可能です。ただし選考があるため、必ず採用になるとは限りません。
6	申請資格	授業料免除にも申請しているが、奨学金の申請資格に影響するか。	影響しません。
7	申請資格	2025年春の在学採用で不採用、または採用取消をした。今回の二次採用に申請できるか。	申請は可能です。ただし、選考があるため、必ず採用になるとは限りません。
11	申請前	申請方法がわからない。	まず、大阪大学ウェブサイトに掲載している「申請要領」・『貸与奨学金案内(大学院)』を確認し、「オンライン採用説明会」を受講してください。
12	申請前	マイナンバーカードを持っていない、または申請中だが、カードの取得ができていないか、でも申請できるか。	マイナンバーカードを持っていないでも申請できます。 住民票がある自治体（役所等）で『マイナンバー記載の住民票の写し』を発行すれば、自身のマイナンバーを確認できます。 （マイナンバーの提出については、下記「Q&A」60番台を参照。）
13	申請前	「KOAN」とは何か。	「KOAN」とは、大阪大学の学務システムです。入学後に交付される大阪大学個人IDによりログインすることで、Web上で大阪大学の電子掲示板（「KOAN掲示板」）の閲覧が可能となります。今後、奨学金に関する重要連絡は「KOAN掲示板」でお知らせすることになります。
14	申請前	申請すれば必ず採用されるのか。	収入・学力等の定められた基準を満たさず、選考の結果、不採用となることがあります。また、留年中等で申込資格を満たしていない場合、提出書類の不備未解消の場合など、選考に進むことなく不採用となります。
15	申請前	返還しなくても良いと聞いたことがある。	日本学生支援機構第一種及び第二種奨学金は“貸与型”のため、 必ず返還しなければなりません 。 ただし、条件を満たせば返還の猶予や返還免除を願い出ることができる制度があります。 （『貸与奨学金案内(大学院)』参照）

Q & A

—日本学生支援機構奨学金（大学院二次採用）—

ご使用のPDF閲覧ソフトの「テキスト検索機能」でキーワード検索すると便利です。

※ 「大阪大学ウェブサイト」とは、特にURLの記載がない場合、（<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/mdzaigaku>）を指します。

※ 豊中学生センターへの問合せ先（問合せフォーム）：https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/form_recruit

番号	項目	質 問	回 答
16	申請前	申請に関する書類が欲しい。	申請に関する案内資料及び各様式は、大阪大学ウェブサイトに掲載しています。紙媒体での配付は行っておりません。各自でウェブサイトからダウンロードし、提出が必要な場合は印刷をしてください。 ※例外として、「奨学金確認書兼地方税同意書」のセットは、各キャンパス学生センターにて配布しますので、「申請要領」に記載の手順により請求してください。（Q&A No.17参照）
17	申請前	「奨学金確認書兼地方税同意書」はどこで入手すればいいのか。	「奨学金確認書兼地方税同意書」は各キャンパスの学生センターにて配布します。最寄りの学生センターまで直接お越しのうえ、 濃緑色の封筒 を1部お持帰りください。 薄緑色は使用できません ので間違えて持ち帰らないでください。取り違えた場合は再度取りに来てください。郵送での受け取りを希望する場合は、「申請要領」に記載の手順により請求してください。
21	保証制度	「人的保証」を選択できる条件は何か。	大阪大学ウェブサイト掲載『貸与奨学金案内(大学院)』に記載された選任条件を満たす「連帯保証人」及び「保証人」を選任できることです。 なお、採用後、返還誓約書を提出する際に、選任した連帯保証人・保証人の署名・押印、印鑑登録証明書の提出等が必要となるため、今回選任する連帯保証人・保証人の方に必ず承諾を得てください。 返還誓約書等の必要書類が提出できない場合は、振込済の奨学金を【全額一括返金】の上、【採用取消】となりますので、承諾を得られない方は「機関保証」を選択してください。
22	保証制度	父母以外を連帯保証人にしたい。	父母いずれかがいらっしゃる場合、原則父母を連帯保証人にすることとなっていますが、例外的に認められる場合があります。詳細は『貸与奨学金案内(大学院)』参照。
23	保証制度	無収入の父母を連帯保証人に選任できるか。	『貸与奨学金案内(大学院)』記載の選任条件を満たしていれば、収入の有無に関わらず選任可能です。
24	保証制度	海外居住者を連帯保証人や保証人に選任できるか。	原則として、日本国内に居住(住民票がある)の方を選任してください。また、外国籍かつ海外居住者は一切選任できません。 選任できる人がいない場合は「機関保証」制度を検討してください。 転勤等の事情によりどうしても海外居住者しか選任できない場合、日本国籍の方であれば選任は可能ですが、返還誓約書提出時に「印鑑登録証明書」の提出が必要となります。 海外居住のため「印鑑登録証明書」を取得できない場合は、在外公館(日本国大使館または領事館)が発給する「署名証明書」を印鑑登録証明書の代わりに提出する必要があります。 所定の期日までに指定された書類を提出できなければ、振込済の奨学金を【全額一括返金】のうえ、奨学金は【採用取消】となりますので、十分理解した上で選任してください。海外居住者を選任したことによる返還誓約書の提出期限の延長は行いません。 なお、スカラネットに入力する該当者の住所については、国内住所のみ登録可能となっておりますので、海外居住者を選任する場合は国内にて連絡がつく先を住所として登録してください。
25	保証制度	父母を保証人にしたい。	父母を保証人にすることはできません。

Q & A

—日本学生支援機構奨学金（大学院二次採用）—

ご使用のPDF閲覧ソフトの「テキスト検索機能」でキーワード検索すると便利です。

※ 「大阪大学ウェブサイト」とは、特にURLの記載がない場合、（<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/mdzaigaku>）を指します。

※ 豊中学生センターへの問合せ先（問合せフォーム）：https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/form_recruit

番号	項目	質 問	回 答
26	保証制度	離婚した父母、配偶者の父母を保証人にしたい。	別生計であれば選任可能です。ただし、離婚して別生計となった父母、配偶者の父母は4親等外の扱いとなるため、保証人に選任した場合、返還誓約書提出時に「返還保証書」と「資産等に関する証明書」の提出が必要になります。 それらの書類が提出できない場合や返還を確実に保証できると認められない場合は、振込済の奨学金を【全額一括返金】のうえ、【採用取消】となりますので、承諾を得られない場合は選任しないでください。
27	保証制度	65歳以上の親族（祖父や祖母など）を保証人にしたい。	別生計であれば選任可能です。ただし、返還誓約書提出時に「返還保証書」と「資産等に関する証明書」の提出が必要になります。 それらの書類が提出できない場合や返還を確実に保証できると認められない場合は、振込済の奨学金を【全額一括返金】のうえ、【採用取消】となりますので、承諾を得られない場合は選任しないでください。 また、該当する者が死亡した場合は新たに別の人物を保証人に選出する必要がありますので注意してください。
28	保証制度	「Q&A」No.26、27の場合に必要な「資産等に関する証明書」は、保証人のすべての資産について証明書類が必要なのか。	資産の条件（『貸与奨学金案内(大学院)』参照）を満たす金額の証明書類を提出すれば、すべての資産の証明書類を提出する必要はありません。
29	保証制度	機関保証の「本人以外の連絡先」に海外居住者を選任できるか。	海外居住者は選任できません。必ず日本国内在住の方を選任してください。
30	保証制度	採用後に保証制度の変更はできるか。	原則は変更できませんので、申請時に両方の保証制度をよく理解したうえで選択してください。 【機関保証から人的保証への変更】 理由の如何を問わず、機関保証から人的保証への変更は出来ません。 【人的保証から機関保証への変更】 一定の条件を満たしている場合に限り変更できる場合があります。詳しくは『貸与奨学金案内(大学院)』保証制度の変更を参照してください。
31	スカラネット	スカラネットにログインできない。	・識別番号（ユーザIDとパスワード）及び「奨学金確認書兼地方税同意書」の申込ID・初期パスワードを正しく入力しているか、確認してください。 識別番号が分からない場合は、「Q&A」No.32を参照。 （※阪大個人IDではありません） ・ご使用の機器がスカラネットの推奨環境を満たしているか確認してください。 ・スカラネットの受付時間内（8:00～25:00、最終締切日は23:59まで）にご利用ください。
32	スカラネット	スカラネット識別番号（ユーザIDとパスワード）がわからない。	大阪大学CLEから「オンライン採用説明会」を受講してください。 受講及び申請フォーム入力後、最後の「理解度チェック」に合格すると、スカラネット識別番号（ユーザIDとパスワード）を確認することができます。
33	スカラネット	スカラネット入力時にエラーが出て先へ進めない。	・画面上でエラー内容を確認してください。 ・半角入力が不可の欄に半角文字を入力していないか確認してください。

Q & A

—日本学生支援機構奨学金（大学院二次採用）—

ご使用のPDF閲覧ソフトの「テキスト検索機能」でキーワード検索すると便利です。

※ 「大阪大学ウェブサイト」とは、特にURLの記載がない場合、（<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/mdzaigaku>）を指します。

※ 豊中学生センターへの問合せ先（問合せフォーム）：https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/form_recruit

番号	項目	質 問	回 答
34	スカラネット	誓約日はいつの日付か。	スカラネット入力日を入力してください。
35	スカラネット	姓・名が文字数制限内に収まらない。	入力できるところ(制限文字数)まで入力してください。詳細は『貸与奨学金案内(大学院)』31ページを参照してください。
36	スカラネット	ミドルネームはどこに入力するのか。	名欄に入力してください。詳細は『貸与奨学金案内(大学院)』34ページを参照してください。
37	スカラネット	自分の住民票記載の住所がわからない。	お住まいの市町村役場等でご確認ください。
39	スカラネット	下宿しているが、実家から住民票を移していない。 スカラネットに「住民票住所」を入力する箇所があるが、実家から下宿先に住民票を移し、下宿先の住所を記入しなくてはならないのか。	実家から下宿先に住民票を移す必要はありません。 この場合、実家の住所を記入してください。
40	スカラネット	固定電話を所有していない場合は空欄で良いか。 (※申請者、連帯保証人、保証人、本人以外の連絡先)	空欄(未入力)で構いません。 ただし、固定電話か携帯電話の少なくともどちらか一方は必ず入力しなくてはなりません。
41	スカラネット	携帯電話を所有していない場合は空欄で良いか。 (※申請者、連帯保証人、保証人、本人以外の連絡先)	空欄(未入力)で構いません。 ただし、固定電話か携帯電話の少なくともどちらか一方は必ず入力しなくてはなりません。
42	スカラネット	連帯保証人や保証人が無職の場合は、勤務先入力はどうするのか。	勤務先・勤務先電話番号欄は空欄(未入力)とし、「無職」にチェックを入れてください。
43	スカラネット	現在貸与中の奨学金の奨学生番号がわからない。	KOANIにログインし、「学生情報→奨学金情報」から参照できます。 (参考) https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/term_alter#9rmni または、採用時に受け取った「奨学生証」や「返還誓約書」(控)等によりご自身で確認してください。 (第一種奨学金は「6」から、第二種奨学金は「8」から、授業料後払い制度は「3」から始まる番号です)。
44	スカラネット	過去に受給していた奨学金の奨学生番号がわからない。	過去に受給していた奨学金の「奨学生証」や「返還誓約書」(控)等によりご自身で確認してください(第一種は「6」から、第二種は「8」、給付は「5」から、授業料後払い制度は「3」から始まる番号です)。 それでも分からない場合は、ご自身で日本学生支援機構(0570-666-301)へお問い合わせください。
45	スカラネット	奨学金振込口座にする予定の金融機関が選択できない。	取扱いが出来ない金融機関は選択できません。別の金融機関を登録してください。
46	スカラネット	スカラネットの入力内容に誤りがあった。	スカラネットは一旦登録完了すると自身で修正できません。 「問合せフォーム(http://osku.jp/p0941)」から、スカラネット受付番号、入力を誤った項目と本来入力すべきだった正しい情報をご連絡ください。

Q & A

—日本学生支援機構奨学金（大学院二次採用）—

ご使用のPDF閲覧ソフトの「テキスト検索機能」でキーワード検索すると便利です。

※ 「大阪大学ウェブサイト」とは、特にURLの記載がない場合、（<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/mdzaigaku>）を指します。

※ 豊中学生センターへの問合せ先（問合せフォーム）：https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/form_recruit

番号	項目	質 問	回 答
47	スカラネット	スカラネットの入力内容に誤りがあり、上記No.46のQ&Aのとおり申し出たが、スカラネットに再ログインして申込内容を表示しても、修正内容がなかなか反映されない。	スカラネットの仕様上、大学で修正した内容は申請者画面（スカラネット）には反映されません。問合せフォームに対して大学からの返信があれば、修正は完了しています。
48	スカラネット	スカラネットに登録した住所に誤りがあり、上記No.46のQ&Aのとおり申し出た。その後、マイナンバー提出専用サイトに進んだが、依然として誤った住所が表示される。マイナンバー提出を進めていいのか。	日本学生支援機構には以下の取扱いを確認しています。住所の修正反映を待たず、マイナンバーの提出以降の手続きも進めるようにしてください。 1. 学生からの連絡に基づき修正した内容は、大学及び日本学生支援機構の画面上でのみ確認でき、学生画面（スカラネット）には反映されない。 2. マイナンバー（個人番号）の提出画面に自動表示される住所等も誤って入力した当初の内容が表示されるため、上記1. で大学が修正した内容も、マイナンバーの提出画面には反映されない。 3. マイナンバー（個人番号）の提出画面に、表示される情報に誤りがないか確認するよう指示されますが、上記1及び2の理由により、誤った内容であっても、「確認しました」を選択して、マイナンバーの提出を完了させてください。
49	スカラネット	スカラネット受付番号を控え忘れた。	スカラネットに再ログインし、「申込内容の確認」をクリックすると、受付番号を含む申込内容が確認できます。
50	スカラネット	博士前期課程に在籍中だが、博士後期課程にも進学するつもりなので、修業年限は「5年」としてよいのか。	修業年限は当該課程のものを入力してください。（例：博士前期課程の場合は「2年」）
51	スカラネット	長期履修生だが、修業年限は何年にすればよいのか。	研究科で認められた修業年限を入力してください。 ※入力された年限に疑義がある場合はおって確認させていただく場合があります。
52	スカラネット	4月に博士前期課程に入学した者だが、二次採用で「授業料後払い制度」を選択できるか。	二次採用で「授業料後払い制度」を選択できるのは、秋入学者のみです。春入学者は「第一種奨学金」を選択してください。
61	マイナンバーの提出	「マイナンバー提出用サイト」にアクセスできない。	「マイナンバー提出用サイト」には、スカラネットの登録完了後にアクセスできるようになります。「申請要領」の手順に従って申請を進めてください。
62	マイナンバーの提出	マイナンバーの提出に関して質問がある。	マイナンバーに関する問い合わせは大学では対応できません。 日本学生支援機構マイナンバー提出専用コールセンター：0570-001-320（ナビダイヤル・平日9時～18時）に直接お問い合わせください。 なお、マイナンバー“カード”を持っていなくても提出できます。（「Q&A」No.12を参照。）

Q & A

—日本学生支援機構奨学金（大学院二次採用）—

ご使用のPDF閲覧ソフトの「テキスト検索機能」でキーワード検索すると便利です。

※ 「大阪大学ウェブサイト」とは、特にURLの記載がない場合、（<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/mdzaigaku>）を指します。

※ 豊中学生センターへの問合せ先（問合せフォーム）：https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/form_recruit

番号	項目	質 問	回 答
71	提出書類	大学に提出する書類は何を提出すればいいのかわからない。	「必要書類等確認書」のすべての項目を確認し、該当する項目について、提出が必要な書類の有無を確認してください。 「必要書類等確認書」による確認結果によっては、大学へ提出する書類は無しとなる場合もあります。 (「Q&A」No.75を参照。)
72	提出書類	「コピー」と指定のある書類を原本で提出してもいいか。	原本でも構いませんが、一度提出のあった書類は一切返却できませんのでご注意ください。 ※原本提出が必要な書類のみ紙媒体で提出が必要です。それ以外はCLEのweb提出フォームからアップロードし提出してください。
73	提出書類	第一種奨学金と第二種奨学金の併用、あるいは併願を希望する場合は、申請書類は2部必要か。	併用・併願の場合でも申請書類は1部で構いません。
74	提出書類	「必要書類等確認書」・「スカラネット入力下書き用紙」は提出しなくてはならないか。	提出不要です。それぞれ、申請フォーム・スカラネットへの入力前のセルフチェックのために作成するものです。選考完了（採用となった場合はその後の返還誓約書提出完了）まで大事に保管しておいてください。
75	提出書類	「必要書類等確認書」で確認の結果、「大学に提出が必要な書類」が指定されている項目にはひとつもチェックが付かなかった。これは、大学には書類を何も提出しなくてもよいということか。	はい。その場合は、 CLEの申請フォーム及びスカラネットの入力 を所定の期限内に完了してください。 また、その後、「奨学金確認書兼地方税同意書」の 日本学生支援機構への郵送提出 を忘れずに行ってください。
76	提出書類	「奨学金確認書兼地方税同意書」を誤って大阪大学に提出してしまった。	その旨を「問合せフォーム(http://osku.jp/p0941)」から連絡してください。 (※スカラネット受付番号、事情を明記)
77	提出書類	「奨学金確認書兼地方税同意書」の提出に関して質問がある。	「奨学金確認書兼地方税同意書」に関する問い合わせは大学では対応できません。 日本学生支援機構マイナンバー提出専用コールセンター：0570-001-320(ナビダイヤル・平日9時～18時)に直接お問い合わせください。
81	申請時	スカラネット登録後、申請を取り下げたい。	「問合せフォーム(http://osku.jp/p0941)」からご連絡ください。 (スカラネット受付番号、取下げ理由を明記)
82	申請時	学生センター所定提出BOXはどこにあるのか。	大阪大学ウェブサイトに掲載中の「申請要領」を確認してください。
83	申請時	大学に提出が必要な書類を郵送で提出するにはどうしたらいいか。	申請書類が入る封筒を各自で用意し、「郵送用宛名貼付用紙」を貼付けて、特定記録(速達)郵便にて豊中学生センター宛に送付してください。 ※原本提出が必要な書類のみ紙媒体で提出が必要です。それ以外はCLEのweb提出フォームからアップロードし提出してください。
84	申請時	大学に書類を提出したが入れ忘れに気づいた。追加で提出して良いか。	申請書類の不備解消期限以前であれば、入れ忘れた書類を追加で提出しても構いません。 「提出封筒貼付用紙」の受付番号欄の左側に朱書きで「追加書類」と明記してください。 なお、不備解消期限を過ぎて提出された書類は一切受理をせず、大学で破棄します。

Q & A

—日本学生支援機構奨学金（大学院二次採用）—

ご使用のPDF閲覧ソフトの「テキスト検索機能」でキーワード検索すると便利です。

※ 「大阪大学ウェブサイト」とは、特にURLの記載がない場合、（<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/mdzaigaku>）を指します。

※ 豊中学生センターへの問合せ先（問合せフォーム）：https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/form_recruit

番号	項目	質 問	回 答
91	申請後	・選考中だが、奨学金が不要となった。 ・採用されたが、奨学金が不要となった。	採用決定前であれば、問合せフォームにてその旨ご連絡ください。 (辞退理由を明記) 採用確定後であれば、採用取消の手続きもしくは「異動願(届)」の提出による辞退手续が必要です。まずは問合せフォームにてその旨豊中学生センターへメールでご連絡ください。
92	申請後	今回不採用になった場合、今後の募集で奨学金申請はできないのか。	募集ごとの申請資格を満たしている場合、申請可能です。
93	申請後	今回不採用になった場合、今後の募集で奨学金申請をしても不採用になるのか。	選考は奨学生募集の都度行われますので、不採用になるとは限りません。
94	申請後	受付不可とはどういう扱いか。	CLE申請フォームの入力及びビスカラネットの入力が完了していない場合は、申請を受け付けず、申請者として扱いません。
95	申請後	選考不可とはどういう扱いか。	申請の不備・不明点が所定の期限までに解消されなかった場合、選考に進むことなく不採用となります。
101	その他	返還誓約書が届くのはいつか。また、提出期限はいつか。	返還誓約書は、採用関係書類一式として、採用月の下旬～末頃にKOANに登録している本人住所*あてに発送します。 *選考結果通知の際にKOAN掲示板(個別連絡)により住所確認についても案内しますので、郵便物が確実に受け取れるよう、KOAN登録住所は常に最新のものに更新しておいてください。 返還誓約書の提出期限は、採用翌月の中旬(「授業料後払い制度」の採用者については上旬)を予定しています。
102	その他	給付奨学金の申請はできないのか。	日本学生支援機構「給付奨学金」制度の対象者は学部学生のみです。大学院生は対象外となります。給付型奨学金については、日本学生支援機構以外の奨学金をご検討ください。
111	全般	上記以外に質問がある。	本学ウェブサイト「問合せフォーム」からお問い合わせください。 https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/form_recruit
112	全般	質問はなぜ問合せフォームでしなければならないのか。	質問の内容は各人の収入状況等により多種多様となっています。それぞれの方に正確に回答するためには、確認する時間を要します。 電話や窓口での質疑応答では、お待たせすることにもなり、また記録にも残らないため口頭では後々トラブルの原因にもなり得ます。 特に多かった疑問は、随時「Q&A」に掲載しますのでご協力をお願いします。

Q & A

— 日本学生支援機構奨学金（大学院二次採用） —

ご使用のPDF閲覧ソフトの「テキスト検索機能」でキーワード検索すると便利です。

※ 「大阪大学ウェブサイト」とは、特にURLの記載がない場合、（<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/mdzaigaku>）を指します。

※ 豊中学生センターへの問合せ先（問合せフォーム）：https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/form_recruit

番号	項目	質問	回答
121	「博士課程」*の第一種奨学金「特に優れた業績による返還免除」申請制限 *「博士課程」には博士後期課程、医歯薬学4年制博士課程、5年一貫制博士課程（生命機能研究科）を含む。以下122～124も同じ。	2025年度に第一種奨学生として採用され貸与を受けることになったが、国立研究開発法人科学技術振興機構による「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」、「次世代研究者挑戦的研究プログラム」又は「次世代AI人材育成プログラム」(以下、「フェローシップ事業等」という)の支援も併せて受けることが決定した。第一種奨学金の「特に優れた業績による返還免除」(以下「業績免除」という)には申請できるか。	2023年度以降に第一種奨学金採用後、フェローシップ事業等の支援を受けることになった場合は、博士課程での業績免除を申請することができません。 ただし例外として、一貫制博士課程（生命機能研究科）の博士前期課程相当年次在籍中に第一種奨学金を辞退し、優れた業績を挙げた者については、フェローシップ事業等の支援が決定していても、 <u>奨学金を辞退した年度における業績免除の申請は可能</u> です。
122	「博士課程」の第一種奨学金「特に優れた業績による返還免除」申請制限	2025年度に第一種奨学生として採用され貸与を受けることになったが、翌年度、博士課程2年次（相当）から国立研究開発法人科学技術振興機構による「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」、「次世代研究者挑戦的研究プログラム」又は「次世代AI人材育成プログラム」(以下、「フェローシップ事業等」という)の支援も受けることが決定した。 これに伴い第一種奨学金は博士課程1年次（相当）をもって辞退するが、「特に優れた業績による返還免除」(以下「業績免除」という)には申請できるか。	2023年度以降に第一種奨学金採用後、フェローシップ事業等の支援を受けることになり、フェローシップ事業等の支援を受ける前に第一種奨学金を辞退した場合であっても、業績免除を申請することができません。
123	「博士課程」の第一種奨学金「特に優れた業績による返還免除」申請制限	国立研究開発法人科学技術振興機構による「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」、「次世代研究者挑戦的研究プログラム」又は「次世代AI人材育成プログラム」(以下、「フェローシップ事業等」という)の支援が終了後、2025年度から第一種奨学生として採用が決定した。 第一種奨学金貸与終了時には「特に優れた業績による返還免除」(以下「業績免除」という)に申請できるか。	第一種奨学金採用年度が2023年度以降の場合、第一種奨学金の貸与を受ける前にフェローシップ事業等の支援が終了していたとしても、業績免除を申請することができません。
124	「博士課程」の第一種奨学金「特に優れた業績による返還免除」申請制限	国立研究開発法人科学技術振興機構による「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」、「次世代研究者挑戦的研究プログラム」又は「次世代AI人材育成プログラム」(以下、「フェローシップ事業等」という)の支援を受ける場合は、第一種奨学金の貸与を受けることができないのか。	第一種奨学金の採用年度にかかわらず、フェローシップ事業等の支援を受けながら第一種奨学金の <u>貸与を受けることは可能</u> です。